

市・上下水道課からのお願い

破損した汚水柵は交換しましょう



▼公共下水道に接続しているご家庭の汚水柵は破損していませんか。

汚水柵やふた（マンホール）が破損していると、雨水やごみなどが下水道管へ流れ込んでしまう恐れがあります。万が一、雨水が下水道管に流れ込んでしまった場合、

▲汚水柵のふた（マンホール）

下水道の機能が低下して流れが悪くなったり、マンホールから水が溢れたりします。

汚水柵が破損した場合は、「留萌市排水設備指定工事店」に修理を依頼するか、ホームセンターなどで購入して新しいものと交換してください。

●令和3年度 留萌市排水設備指定工事店

| 所在地 | 指定工事店名 | 電話番号 |
|------|---------------|--------------|
| 留萌市 | 株式会社熱源 | 42-3081 |
| | 株式会社ハチ口 | 42-3311 |
| | 株式会社不二水道 | 42-1955 |
| | ナリタ設備 | 49-2355 |
| | 北興機械株式会社 | 42-3615 |
| | 株式会社パイプライン | 42-8622 |
| 札幌市 | 日南産業株式会社 | 011-786-7111 |
| 旭川市 | 株式会社原田設備工業 | 0166-73-5260 |
| | 丸信衛生工業株式会社 | 0166-23-2528 |
| | 大建工業株式会社 | 0166-60-5500 |
| | 株式会社エーステック | 0166-37-1444 |
| | 有限会社コンサル舎・とやま | 0116-74-7856 |
| 滝川市 | 株式会社道央ハウジング | 0125-24-0357 |
| 羽幌町 | 北日本設備株式会社 | 0164-62-3592 |
| 沼田町 | 有限会社松尾住設 | 0164-35-1672 |
| 新十津町 | 株式会社日出開発 | 0125-76-2055 |



STOP！ 下水道への不法投棄

最近、公共下水道管への不法投棄により、管が閉塞する事例が多く発生しています。

下水道の汚水管や雨水管に、油脂類や異物（トイレペーパー以外の紙、残飯などの固形物、ごみなど）を流すと、火災や管の詰まり、異臭の原因となるほか、汚水処理施設の機能低下を招くことにつながります。また、油が下水道の雨水管を流れていくことで、河川や海を汚してしまいます。

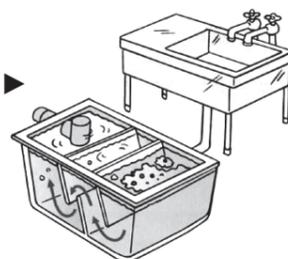
下水道を正しくご使用していただくとともに、下水道管などへの不法投棄は、絶対に行わないでください。

グリーストラップを 設置している皆さんへ

▼飲食店などの油脂分を含む排水は、下水道本管を閉塞させる原因となります。グリーストラップの清掃は定期的に行いましょう。適正な管理を行わず、油脂分を流出させて下水道本管を詰まらせた場合は、下水道本管の清掃に係る費用を負担していただくことがありますのでご注意ください。

グリーストラップの適正な維持管理を行い、下水道を正しく利用しましょう。

飲食店などの グリーストラップ▶



特集



9月10日は 「下水道の日」

「下水道の日」にちなみ、快適な都市生活に欠かすことのできない下水道の適正な利用について、皆さんも一緒に考えましょう。

問 市・上下水道課 TEL 42-2049

下水道の役割について

留萌市の下水道整備

▼留萌市の下水道整備は、昭和52年2月に始まりました。市内の公共下水道の整備面積は、令和2年度末で525ヘクタール（事業計画面積に対する整備率73.1%）です。

また、市内で下水道を利用できる地域に暮らす方は1万7,076人（市民全体の85.3%）となっており、このうち約9割の世帯が水洗化しています。

下水道は、皆さんの安全で快適な生活を守り、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。

このため、皆さん一人一人が環境改善の意識を持ち、下水道を利用していくことがとても大切です。

「下水道の日」のいわれ

昭和36年、台風による大雨に備える趣旨と下水道の大きな役割である「雨水の排除」にちなみ、台風シーズンである「二百十日」から10日過ぎた220日目に当たる9月10日が「全国下水道促進デー」と定められました。

その後、平成13年に旧下水道法制定100年を記念して改称され、「下水道の日」となりました。

下水道マスコット
キャラクター
「スイスイ」▶



留萌浄化センターの役割について



▲留萌浄化センター

▼留萌浄化センターでは、家庭や事業所などから出された汚水を浄化し、きれいな水にしています。

市では、浄化したきれいな水を河川に返すことで、水質の保全や水環境の改善を図っています。河川や海などの水環境をきれいに保つことは、生態系の保護につながり、美しい留萌の自然を守ることもなります。

豊かな自然と住みよい生活環境を守るため、今後も皆さんのご理解とご協力をお願いします。